

## 令和2年度 第2回稚内市環境審議会 議事録

1. 日 時：令和3年1月14日（木） 10：00 ～ 11：30
2. 場 所：稚内市役所 5階 正庁
3. 出席者：委員12名中11名出席
4. 会議の議事録
  - (1)開会
  - (2)委嘱状交付
  - (3)市長挨拶
  - (4)審議会委員・事務局紹介
  - (5)役員選出
  - (6)議題
    - ①次期稚内市地球温暖化対策実行計画（案）について
  - (7)閉会

《 議事概要 》

①次期稚内市地球温暖化対策実行計画（案）について

※事務局にて計画案（区域施策編【資料1】・事務事業編【資料3】）の概要説明

※区域施策編は稚内市全体で行い、事務事業編は稚内市が一事業者として行う計画であるという補足説明

～質問・意見等～

委員…● 事務局…◇

●市の出前講座で受講できるものがあれば、市民も頑張って取り組むことができるのではないかと考えている。

◇市としても出前講座を開催していきたい。また、子ども向けの環境新聞を発行したいと考えている。

●区域施策のP.23のメタン・一酸化二窒素について、今回、温室効果ガスの対象に含めてはいないが、例えば、ごみの埋め立ての削減方法等、メタン・一酸化二窒素について具体的な方向性はあるか。

◇酪農は市の基幹産業であるため、頭数を減らすことはできない。また、廃棄物に関することも新規の施設が完成し、運用していくため、メタンや一酸化二窒素の削減は方法として困難ではあるが、代わりに目標を二酸化炭素で置いている。メタンや一酸化二窒素については、経年変化による推計値を載せている。

●家畜頭数等の数の影響を含めていないが、アメリカでは家畜頭数を抑え二酸化炭素排出量を抑えるということがあるが、こういった構想はあるか。

◇水産、酪農、観光は市の基幹産業であり、何かを犠牲にして何か行うのは我慢になり続かなくなるため、地元の地場を守りつつ、削減していきたい。

●メタンは排出量が少なくても温室効果の影響が大きく、バイオガス発電に取り組むことで二酸化炭素が出るものの、メタンより地球温暖化の係数が小さいため削減することができる。

●事業者に対しての補助事業等のバックアップが欲しい。

◇補助については、市として補助のメニューはないが資料作成の作成補助等のできるころから始め、市として補助等が必要になったときには施策として組み込めるようにしていきたい。

- 10年間の計画の中で見直しのタイミングはどうするのか。
- ◇地球温暖化対策計画、環境基本計画に基づき、毎年、取組の進捗状況を公表して、意見を頂きたいと考えている。
- 再生エネルギーについて、例えば、ごみの焼却は二酸化炭素がこの比率になるので、排出量の比率がどう変化するかという細部まで、この計画の中で想定されているのかどうか。
- 計画は読み手によって分かりやすくし、新しく市に住む人たちへの周知の仕方を考えた方がよいのではないか。
- ◇計画の概要版を作成しわかりやすくする。
- 専門的用語を市民向けにわかりやすくした方がよい。
- 取り組みによる削減数値、電気代などの料金効果がわかりにくいので、取り組みによる排出量の削減効果を分かりやすく示した方がよい。
- P. 28 の貢献度について、主語が分かるようにした方がよい。
- ◇分かりやすく修正する。

以上